

7章 塗装改修工事(8節 耐候性塗料塗り(DP))

8節 耐候性塗料塗り(DP)

7.8.1 一般事項

この節は、屋外の鉄鋼面、亜鉛めっき鋼面、コンクリート面及び押出成形セメント板面の耐候性塗料の塗替え及び新規に塗る場合に適用する。

7.8.2 鉄鋼面の耐候性塗料塗り

- (1) 鉄鋼面の耐候性塗料塗りは、表7.8.1による。ただし、上塗り塗料の等級は、特記による。
 なお、鉄骨等の製作工場で溶接した箇所の錆止め塗料塗りは、7.4.3(2)のウ)による。

表7.8.1 鉄鋼面の耐候性塗料塗り

工 程	塗 料 そ の 他			S K K 該 当 製 品	* 塗 付 け 量 (kg/m ²)
	規格番号	規 格 名 称	種 類		
錆止め塗料塗り		7.4.3(1)による。		—	—
1 研磨紙ざり		研磨紙P120~220		—	—
2 中 塗 り	JIS K 5659	鋼構造物用 耐候性塗料	A種 中塗り塗料	クリーンマイルド中塗材ST★	0.14
3 上 塗 り	JIS K 5659	鋼構造物用 耐候性塗料	A種 上塗り塗料	クリーンマイルドフッソST★(注1)	0.10

(注) 1. 1級：クリーンマイルドフッソST★、2級：クリーンマイルドシリコンST★、3級：クリーンマイルドウルタンST★の等級の製品があります。仕様について詳しくは、最寄りの営業所にお問い合わせください。
 2. 錆止め塗料塗りの種別は、塗料その他の欄による。
 3. 新規に塗装を行う場合で、工程3まで鉄骨等の製作工場で行う場合は、工程1の研磨紙ざりは省略する。
 * 「塗付重量」とは、被塗面単位面積当たりの塗装材料の「塗着重量」、即ち、基材の上に「実際に塗着している塗装材料の重量」のことであり、「塗装材料のロス」を含む被塗面単位面積当たりの「塗装材料の使用重量」である「所要量」とは意味合いが異なります。通常「所要量」>「塗付重量」となりますのでご注意ください。

7.8.3 亜鉛めっき鋼面の耐候性塗料塗り

亜鉛めっき鋼面の耐候性塗料塗りは、表7.8.2による。ただし、上塗り塗料の等級は、特記による。

表7.8.2 亜鉛めっき鋼面の耐候性塗料塗り

工 程	塗 料 そ の 他			S K K 該 当 製 品	* 塗 付 け 量 (kg/m ²)
	規格番号	規 格 名 称	種 類		
錆止め塗料塗り		7.4.3(3)による		—	—
1 研磨紙ざり		研磨紙P120~220		—	—
2 中 塗 り	JIS K 5659	鋼構造物用 耐候性塗料	A種 中塗り塗料	クリーンマイルド中塗材ST★	0.14
3 上 塗 り	JIS K 5659	鋼構造物用 耐候性塗料	A種 上塗り塗料	クリーンマイルドフッソST★(注1)	0.10

(注) 1. 1級：クリーンマイルドフッソST★、2級：クリーンマイルドシリコンST★、3級：クリーンマイルドウルタンST★の等級の製品があります。仕様について詳しくは、最寄りの営業所にお問い合わせください。
 2. 錆止め塗料塗りの種別は、塗料その他の欄による。
 3. 新規に塗装を行う場合で、工程3まで鉄骨等の製作工場で行う場合は、工程1の研磨紙ざりは省略する。
 * 「塗付重量」とは、被塗面単位面積当たりの塗装材料の「塗着重量」、即ち、基材の上に「実際に塗着している塗装材料の重量」のことであり、「塗装材料のロス」を含む被塗面単位面積当たりの「塗装材料の使用重量」である「所要量」とは意味合いが異なります。通常「所要量」>「塗付重量」となりますのでご注意ください。

7章 塗装改修工事(8節 耐候性塗料塗り(DP))

7.8.4

コンクリート面及び押出成形セメント板面の耐候性塗料塗り

コンクリート面及び押出成形セメント板面の耐候性塗料塗りは表7.8.3により、種別は特記による。

表7.8.3 コンクリート面及び押出成形セメント板面の耐候性塗料塗り

工 程	種 別						塗 料 そ の 他			S K K 該 当 製 品	* 塗 付 け 量 (kg/m ²)
	A-1種	A-2種	B-1種	B-2種	C-1種	C-2種	規格番号	規格名称	等 級		
下 地 調 整	○	—	○	—	○	—	表7.2.6によるRB種			—	—
	—	○	—	○	—	○	表7.2.6によるRC種			—	—
1 下 塗 り	○	—	○	—	○	—	JASS 18 M-201	反応形成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形成樹脂シーラー	—	マイルドシーラーEPO★	0.08
	○	○	—	—	—	—	JASS 18 M-405	常温乾燥機形ふっ素樹脂塗料用中塗り(常温乾燥機形ふっ素樹脂塗料用中塗り)および弱溶剤系常温乾燥機形ふっ素樹脂塗料用中塗り)	—	グリーンマイルドフッ素塗材	0.14
2 中 塗 り	—	—	○	○	—	—	JASS 18 M-404	アクリルシリコン樹脂塗料用中塗り(アクリルシリコン樹脂塗料用中塗り)および弱溶剤系アクリルシリコン樹脂塗料用中塗り)	—	グリーンマイルドシリコンCR★	0.14
	—	—	—	—	○	○	JASS 18 M-403	2液形ポリウレタンエナメル用中塗り(2液形ポリウレタンエナメル用中塗り)および弱溶剤系2液形ポリウレタンエナメル用中塗り)	—	グリーンマイルドウレタンCR★	0.14
3 上 塗 り	○	○	—	—	—	—	JIS K 5658	建築用耐候性上塗り塗料	1級 (主要原料ふっ素樹脂)	グリーンマイルドフッ素CR★	0.10
	—	—	○	○	—	2級 (主要原料シリコン樹脂)			グリーンマイルドシリコンCR★		
	—	—	—	—	○	○			3級 (主要原料ポリウレタン樹脂)	グリーンマイルドウレタンCR★	

(注) 1. 新規に塗装を行う場合は、A-1種、B-1種又はC-1種とし、下地調整に代えて、素地ごしらえを表7.3.6によるA種により行う。ただし、押出成形セメント板は、B種の素地ごしらえを行う。

2. JASS 18 M-201、M-403、M-404及びM-405は、日本建築学会材料規格である。

3. ★印はホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆表示製品。

*「塗付け量」とは、被塗面単位面積当たりの塗装材料の「塗着重量」、即ち、基材の上に「実際に塗着している塗装材料の重量」のことであり、「塗装材料のロス」を含む被塗面単位面積当たりの「塗装材料の使用重量」である「所要量」とは意味合いが異なります。通常「所要量」>「塗付け量」となりますのでご注意ください。